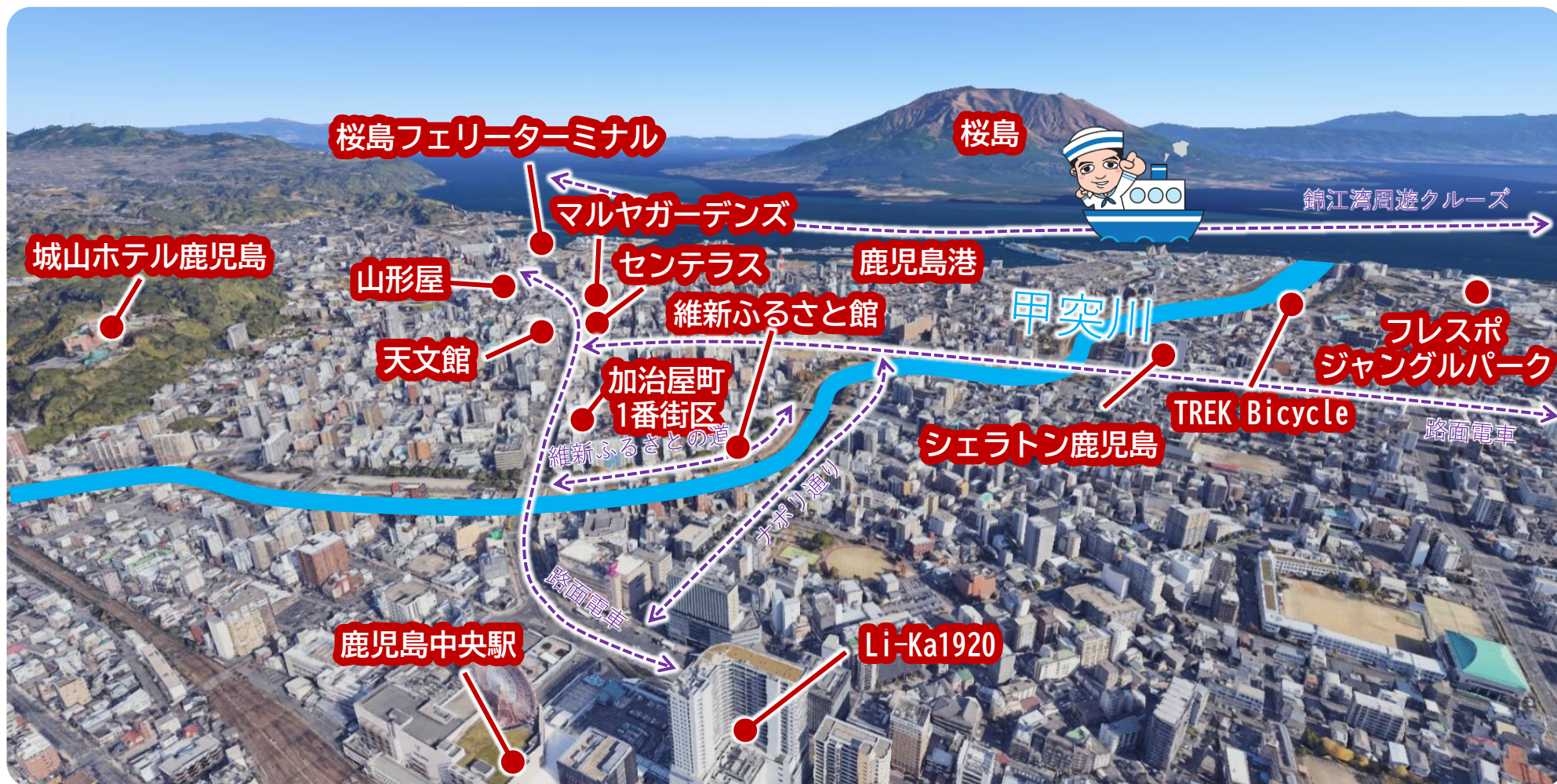


甲突川 ステップアッププロジェクト

鹿児島県土木部河川課

甲突川が持つ地域活性化・稼ぐ力の向上に繋がるポテンシャル

- これまで、良好な水辺空間の創出を目指し、整備を行ってきた甲突川の周りには、桜島や錦江湾といった雄大な自然・景観，明治維新などの歴史・文化，鹿児島中央駅や天文館などの街，といった他の地域にはない様々な魅力が多く存在。
- 甲突川をフル活用することで、これらの魅力を高めながら、新たな価値を生み出すこともできると考えている。



- 地域の財産である甲突川を使い倒すことが、他にはない魅力的な地域づくりには重要。
- 水辺空間を活用しながら、地域活性化を促したい思いを持つ民間事業者等と連携することで、稼ぐ力の向上を図りたい！

私たちが考えていることの一例

(例)国際クルーズ船が寄港するマリンポートから
甲突川を上るリバークルーズの実現

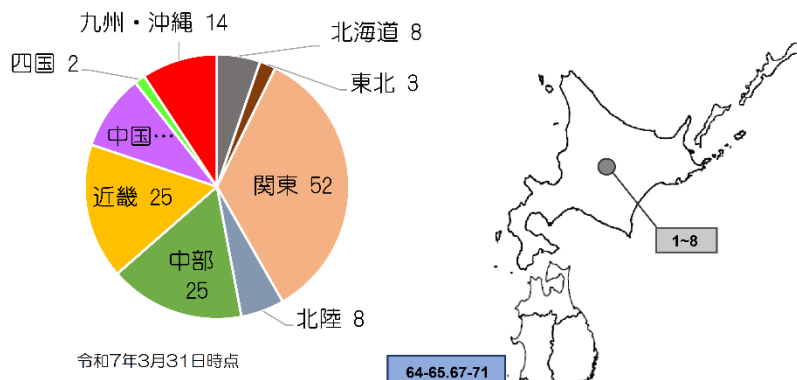


(例)ワインバーでの水辺の嗜み



- 民間事業者等の河川空間の占用を認め、エリアを一体的に活用した営業活動を可能とする河川空間のオープン化について、本県管理河川では事例がまだないところ。
- 甲突川において、この制度活用を促すため、令和5年度から、鹿児島市をはじめ、様々な民間事業者へヒアリング等実施。
- 興味・関心は大きく示されるものの、ヒアリングにより『河川空間利活用に対する認知度不足』、『河川の流下阻害や占用許可への不安感』、『熱意あるキーパーソンの発掘』といった、解決しなければならない課題に直面。

河川空間のオープン化マップ※1)



河川空間のオープン化について
本県管理河川では事例無し
(国の鶴田ダムでは活用)

甲突川でのオープン化活用に向けたヒアリング先の一例

- 鹿児島市
- 鹿児島県観光連盟
- 鹿児島商工会議所
- 鹿児島観光コンベンション協会
- 鹿児島青年会議所
- 鉄道・ホテル・飲食・旅行事業者など個別の民間事業者

ヒアリングで見えてきた課題

- ⚠ 河川空間利活用に対する認知度不足
- ⚠ 河川の流下阻害や占用許可への不安感
- ⚠ 熱意あるキーパーソンの発掘



民間事業者等による水辺空間の活用に向けた課題

河川空間利活用の認知度不足

営利活動等行えない
スペースと認識

流下阻害や占用許可への不安感

川床なんて、占用許可が
得られないとの不安感

熱意あるキーパーソンの発掘

主体的かつ熱意の高い
民間事業者等は未確認



課題解決に必要なこと

○水辺の魅力を知る・体験
する機会の提供

○川床などの設置の前例づくり
○治水・管理の検討・整理

○地域の多様な主体が参画
した組織体制の構築

そして何より、**県（河川管理者）の熱意を示すことが、最も重要**

県自ら、民間事業者等連携しながら水辺の活用を推進するため、

新規事業を創設!!

《水辺の魅力を活用した都市空間リノベーション事業（県単独事業）》

- 河川という地域にある当たり前の資源を活用し、他にはない「個性ある地域づくり」や「観光の稼ぐ力の向上」を地域や民間事業者等と連携しながら推進するため、課題解決を図る。
- 令和7年度は、鹿児島市を流れる甲突川をモデルとし、甲突川ステップアッププロジェクトとして「河川空間のオープン化に向けた組織体制の検討」や「社会実験の検討・実施」などを行う。

令和7年度 甲突川ステップアッププロジェクト実施内容（当初計画）

河川空間のオープン化に向けた 組織体制検討

- 地域の多様な主体が参画した組織体制の構築に向けて、まずは、組織体制の前身・種となるチームづくりを行う。



認知度向上
民間呼び水

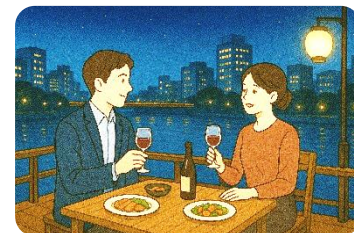
地域主体の
アイデア

実体験
熱意向上

分析等を行い

社会実験の実施

- 河川の利活用についての認知度向上や熱意ある新たな民間事業者等の呼び水となる社会実験を実施。（川床・リバークルーズなど）



- 地域活性化に向け、水辺の利活用を主体的に検討するための組織体制を構築。
- 本取組や全国の先進地事例を参考に、オープン化に係る、民間事業者向けの手引きを作成。

甲突川における社会実験の実施状況（第1弾・第2弾）

- 地域や観光客の方々に甲突川の魅力を体験していただくとともに、水辺の利活用についての夢やアイデアを収集するための社会実験第1弾・第2弾を実施。
- 第1弾については、鹿児島青年会議所主催の「長月桜祭り」，また，第2弾については，株式会社南日本放送主催の「かごしまの風と光とナポリ祭」と連動して川床等を設置。
- **寛ぎ空間を創出**することで，イベント来場者が水辺の魅力を体験。
- 来場者へ，**水辺の利活用に係るアンケート調査や，夢やアイデアを募るブレインストーミングを実施。**

鹿児島青年会議所主催「長月桜祭り」と連動した社会実験第1弾

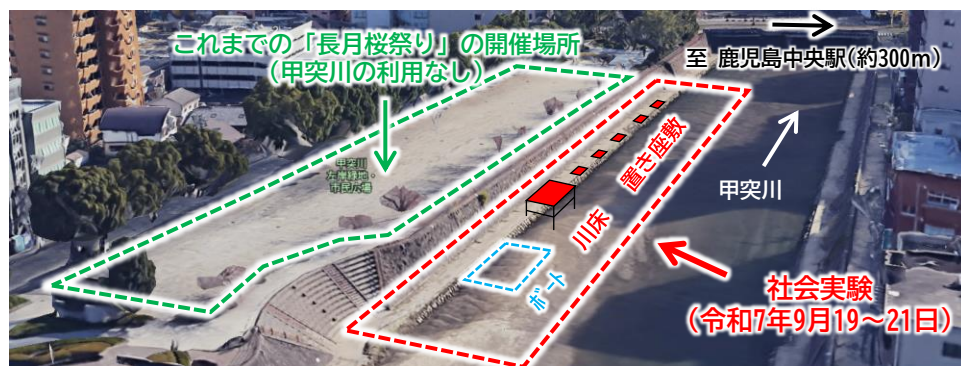
【社会実験での主な実施内容】

○ 青年会議所が設置する川床に加え，親水エリアを拡大

低水護岸に，置き座敷を複数設置し，親水スペースを拡大。

○ 広報ブースでの広報・アンケート等

パネル展示による広報，アンケート調査，水辺とまちに対する夢・アイデアを収集するブレインストーミングを実施。



川床の設置(JC)



置き座敷の設置(県)



くるくるボートの開催(県)

MBC主催「かごしまの風と光とナポリ祭」と連動した社会実験第2弾

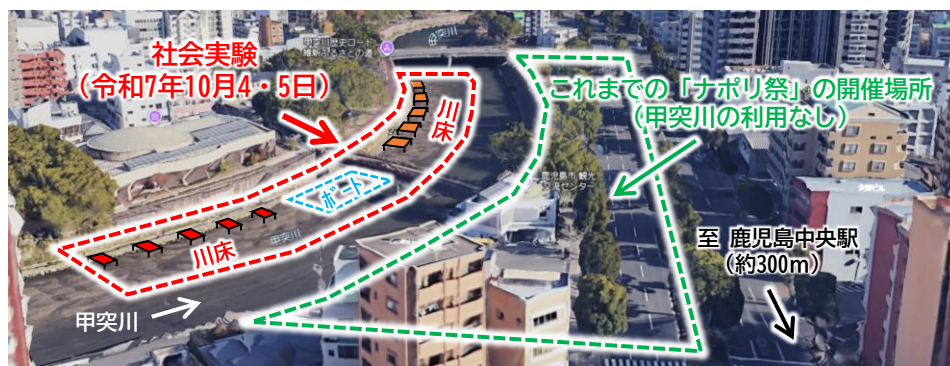
【社会実験での主な実施内容】

○ 県で川床を設置し，非日常的な空間を創出

県において川床を10箇所設置（サイズは様々）。置き座敷タイプとカフェタイプを設置。

○ 広報ブースでの広報・アンケート等

第1弾同様の広報等を実施。



川床(カフェタイプ)の設置



川床(置き座敷タイプ)の設置



ブレインストーミングの実施

社会実験第1弾・第2弾の結果

- 多くの来場者が水辺の魅力を体験し魅了（アンケート回答数782）

【主なアンケート項目】

★ 川床等の水辺のイベントに今後参加したいと思う⇒82.6%

★ 川床を常設してほしいと思う⇒69.6%

★ 1,000円の店内飲食に対し川床であれば付加価値として1,500円以上払う⇒55.6%
- 水辺の利活用に対する夢・アイデアの傾向を収集（ブレインストーミング回答数678）

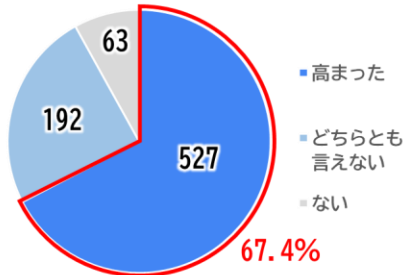
【主な分析結果】

★ ブレインストーミングの有意の単語出現頻度上位に、カフェ、川床、アスレチック、BBQ、水（川）遊び、カヌー、釣り、花火、ビアガーデン。

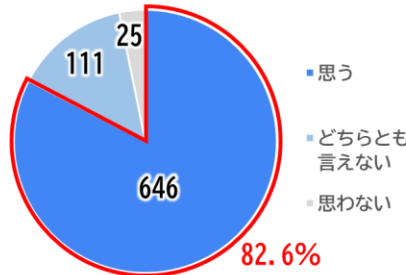
★ 名詞と動詞の組合せ出現頻度上位は、子供－遊ぶ、ごはん－食べる、川－見る、水（川）遊び－できる、釣り－できる。

社会実験 第1弾・第2弾のアンケート結果【回答数782】 抜粋

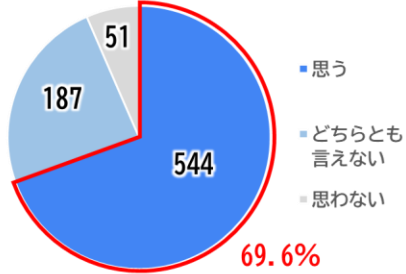
Q 社会実験で川の利用への興味が高まったか



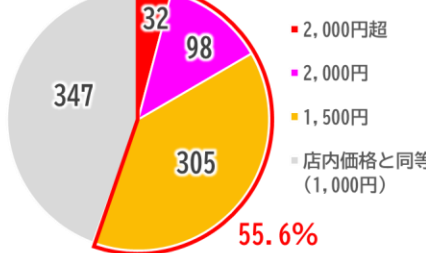
Q 水辺のイベントに今後も参加したいか



Q 川床の常設を望むか

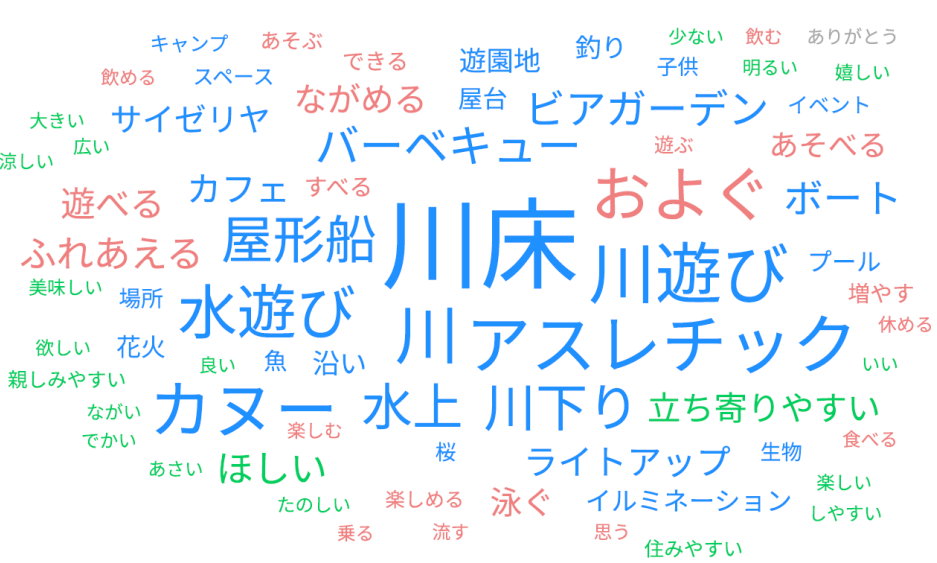


Q 1,000円の店内飲食に対し、川床ではいくら払えるか



社会実験 第1弾・第2弾のブレスト結果【回答数678】 抜粋

○甲突川への夢・アイデア募集結果（単語）
（出現頻度等が高い単語を複数選出し、その値に応じた大きさで図示）



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析(<https://textmining.userlocal.jp/>)

甲突川における社会実験の実施状況（第3弾）

- 民間事業者等が事業展開するにあたり、事業活動の採算性や地域のニーズ等を把握するための社会実験第3弾を実施。
- 河川空間のみを活用して、**民間事業者運営の冬のアウトドアダイニング（約60畳の川床）を開催。**
 - ※ 令和8年1月31日、2月1日の開催のうち、31日にはリバークルーズを実施。
- 桜島などの雄大な景観や、水辺の開放感、また冬の川の季節感を味わいながら、温かい飲食を楽しむなど**非日常感を体験する機会を来場者が堪能。（約700人の来場）**
- 来場者や、出店した民間事業者へ、本社会実験に対するアンケート調査を実施。

社会実験第3弾 冬のアウトドアダイニング実施状況

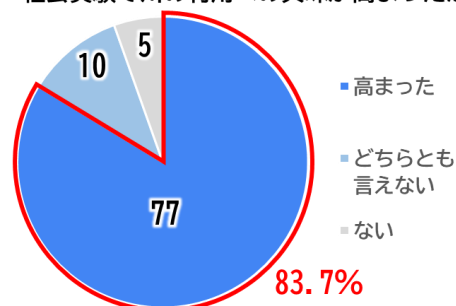


社会実験第3弾の結果

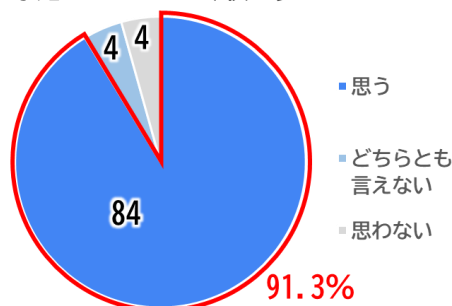
- 約700名に来場いただき、非日常的な空間を体験。（アンケート回答数92）
 - ★ 川の利用に対する興味が高まった⇒**83.7%**（第1・2弾に比べ+16.3%）
 - ★ 川床等の水辺のイベントに今後参加したいと思う⇒**91.3%**（第1・2弾に比べ+8.7%）
 - ★ 川床を常設してほしいと思う⇒**70.7%**（第1・2弾に比べ+1.1%）
- 民間事業者による事業活動の採算性があることを確認。（今後のイベントでの出店を希望する多数の声あり。）
- 冬季を含む、通年での利活用の可能性を把握。

社会実験 第3弾の来場者アンケート結果【回答数92】 抜粋

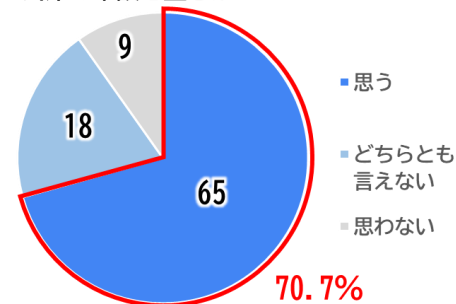
Q 社会実験で川の利用への興味が高まったか



Q 水辺のイベントに今後も参加したいか



Q 川床の常設を望むか



「来場者からの主な声」

- ・景色が良い。水辺から上を見るのはだいが違う。意外性がおもしろい。
- ・普段は川に入らない寒い時期に非日常的な体験ができた。様々な季節で実施してほしい。
- ・1年間を通して実施してほしいが、雨が降り洪水への対応が気になるところ。

民間事業者へのヒアリング結果（6社）

○採算性や今後の意欲等についての調査結果

社名	出店期間	経費①	売上②	収益②-①	河川利用の意欲	次回イベント参加
A社	1日間	10千円	40千円	30千円	高まった	希望
B社	2日間	80千円	330千円	250千円	高まった	希望
C社	2日間	55千円	100千円	45千円	高まった	希望
D社	2日間	50千円	220千円	170千円	高まった	希望
E社	2日間	未回答	150千円	—	高まった	希望
F社	2日間	15千円	85千円	70千円	高まった	希望

※経費は原材料費や人件費等であり、各経営者が把握した支出金額を記載

○民間事業者からの主な声

- ・桜島の風景が見えるから気持ちいい。
- ・こういう風に、水辺に場所を作るだけでお客さんが居るのが新鮮。
- ・別の機会でも出店したい。
- ・もう少し期間を長く実施してほしい。

甲突川における社会実験の実施状況（第4弾）

- 川床を活用した「**桜島×水辺×お花見**」有料観覧席を販売し、お花見客に非日常感を感じていただくとともに、事前予約による**場所取り手間の削減、ゴミの持ち帰り不要**などの利点が話題性を集めた。

期 間：令和8年3月28日（土）～令和8年4月12日

時間帯：平日 18:00～21:00の1サイクル（180分）

土日 ①11:00～14:00、②14:30～17:30、③18:00～21:00の3サイクル（各180分）

種 類：お花見デッキ約6畳×12区画、個室タイプ約8畳×6基

料 金：1基・1区画あたり4,000円/1サイクル

社会実験第4弾 「桜島×水辺×お花見」有料観覧席実施状況



社会実験第4弾の結果と今後の事業の方向性

- 桜の見頃（4／2～4／12）の利用率は、川床全体で約4割、個室タイプで約5割
- 開花ピーク時（4／2～4／9）の利用率は、川床全体で約5割、個室タイプで約7割
- 週末から土日にかけて（4／3～4／5）の利用率は、川床全体で約6割、個室タイプで約8割

日	曜日	川床全体			個室タイプ			デッキタイプ		
		収容可能	来場組数	利用率	収容可能	来場組数	利用率	収容可能	来場組数	利用率
4月2日	木	18	6	33.3	6	5	83.3	12	1	8.3
4月3日	金	18	12	66.6	6	5	83.3	12	7	58.3
4月4日	土	54	28	51.9	18	10	55.6	36	18	50.0
4月5日	日	54	41	75.9	18	18	100.0	36	23	63.8
4月6日	月	18	2	11.1	6	1	16.7	12	1	8.3
4月7日	火	18	3	16.7	6	2	33.3	12	1	8.3
4月8日	水	18	6	33.3	6	5	83.3	12	1	8.3
4月9日	木	18	2	11.1	6	2	33.3	12	0	0.0
4月10日	金	18	1	5.6	6	1	16.7	12	0	0.0
4月11日	土	54	19	35.2	18	11	61.1	36	8	22.2
4月12日	日	54	6	11.1	18	2	11.1	36	4	11.1
2～12日 合計		342	126	36.8	114	62	54.4	228	64	28.1
2～9日 合計		216	100	46.3	72	48	66.7	144	52	36.1
3～5日 合計		126	81	64.3	42	33	78.6	84	48	57.1

今後の方向性

- 河川空間を生かした魅力創出への期待は実感できるが、民間事業者が自立的・自発的に取り組める体制を確立していくためには、継続した社会実験による民間事業者の採算性検証などの知見の蓄積が必要。
- 河川の安全性を確保しながら、効率的・効果的な維持管理に繋がるよう、専門的知見を踏まえ、川床の常設を視野に入れた取組の検討が必要。
- 地域が一体となった取組となるよう、民間事業者だけでなく県及び市が連携した河川占用に係る組織体制の検討が必要

今後も、皆様に愛される川づくりを目指し、
精一杯、取り組んでまいります。

甲突川で社会実験に参加したい仲間を募集します！！

ご清聴，誠にありがとうございました。



かごしま未来応援隊（鹿児島県土木部オリジナルキャラクター）